



ピロロキノリンキノン (PQQ) の国内販売を開始
～米国に続き、日本でも健康食品素材として本格展開～

 三菱ガス化学株式会社

2015年4月30日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井敏磨）は、ピロロキノリンキノン二ナトリウム塩（通称：ピロロキノリンキノン、以下PQQ）の国内販売を開始いたします。

PQQは、酸化還元酵素の補酵素の一つとして1979年に発見された水溶性キノン化合物です。当社と国内外の大学と共同で進めている研究において、神経保護作用、神経成長因子の増強作用、抗酸化作用、ミトコンドリア新生作用などが見出されており、特にヒトや動物での試験では記憶能力や識別能力の向上が認められ、高齢化社会の需要に応える素材として期待されています。



当社は、米国において2008年よりPQQの販売を開始し、当社のPQQ（登録商標MGCBioPQQ®）は脳機能改善などを訴求した健康食品に利用されています。今後は日本市場でもPQQを拡販し、ライフサイエンス事業の新たな柱の一つとして育成してまいります。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

広報IR部：03-3283-5040

天然ガス系化学品カンパニー有機化学品事業部：03-3283-4776

<参考>

補酵素とは

酵素の働きを助ける物質。

PQQ とは

酸化還元酵素の補酵素の一つとして 1979年に発見された水溶性キノン化合物。パセリやピーマンなどの野菜や納豆、緑茶、ウーロン茶などに含まれるほか、ヒト体内にも存在し、特にヒト母乳中に多く含まれる。2003年に理化学研究所からPQQが14番目のビタミンとなる可能性が報告されている。

PQQの詳細についてはこちら：<http://www.mgc.co.jp/seihin/h/pqq/index.html>